

エコアクション21 環境活動レポート

平成25年度

(平成25年4月 ~ 平成26年3月)



中津工場



中津新田工場



大分事業所



(作成日：平成26年8月6日)

 **太陽インダストリー株式会社**

中津工場・中津新田工場

目次

1. 組織の概要

- 1-1. 会社概要
- 1-2. 認証・登録範囲の概要
- 1-3. 事業の規模

2. 対象範囲

- 2-1. 対象範囲と認証・登録範囲
- 2-2. 実施体制

3. 環境方針

- 3-1. 基本理念
- 3-2. 行動指針

4. 環境目標

- 4-1. 過去の環境負荷実績(平成 22 年～24 年度)及び分析
- 4-2. 環境目標

5. 環境活動計画及び実績

6. 環境目標の活動内容及び結果と評価

7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

9. 次年度の取組内容

1. 組織の概要

1-1. 会社概要

社名	太陽インダストリー株式会社
代表者名	水口 真
設立	昭和40年7月
資本金	3億円
従業員数	520名(平成25年4月1日現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段ボールケースの製造・販売・包装資材の販売 ・ 人工大理石・強化プラスチック(FRP)製造 ・ レジンコンクリート製品の製造

(全組織の概要)

事業所名	所在地	人員	事業活動内容
本社	北九州市小倉南区湯川4丁目1-1	11	組織全体の総務・経理・人事等の管理業務
戸畑工場	北九州市戸畑区川代2丁目3-7	72	段ボールケース・包装資材の製造・販売
中津工場	大分県中津市上如水1342番地	109	人工大理石・樹脂成型品の製造
中津新田工場	大分県中津市大新田425-2	49	レジンコンクリート製品・FRP成型品の製造 重量物段ボールケースの製造・販売
小倉事業所	北九州市小倉北区中島2-1-1 TOTO(株)小倉工場内	126	衛生陶器製品の製造及び梱包出荷業務の請負
中津事業所	大分県中津市大字是則700 TOTO(株)サニテクノ中津工場内	136	衛生陶器製品の製造・検査及び梱包出荷業務の請負
大分事業所	大分県大分市大字竹中字下長谷404-2	17	段ボールケース・包装資材の製造

1-2. 認証・登録範囲の概要

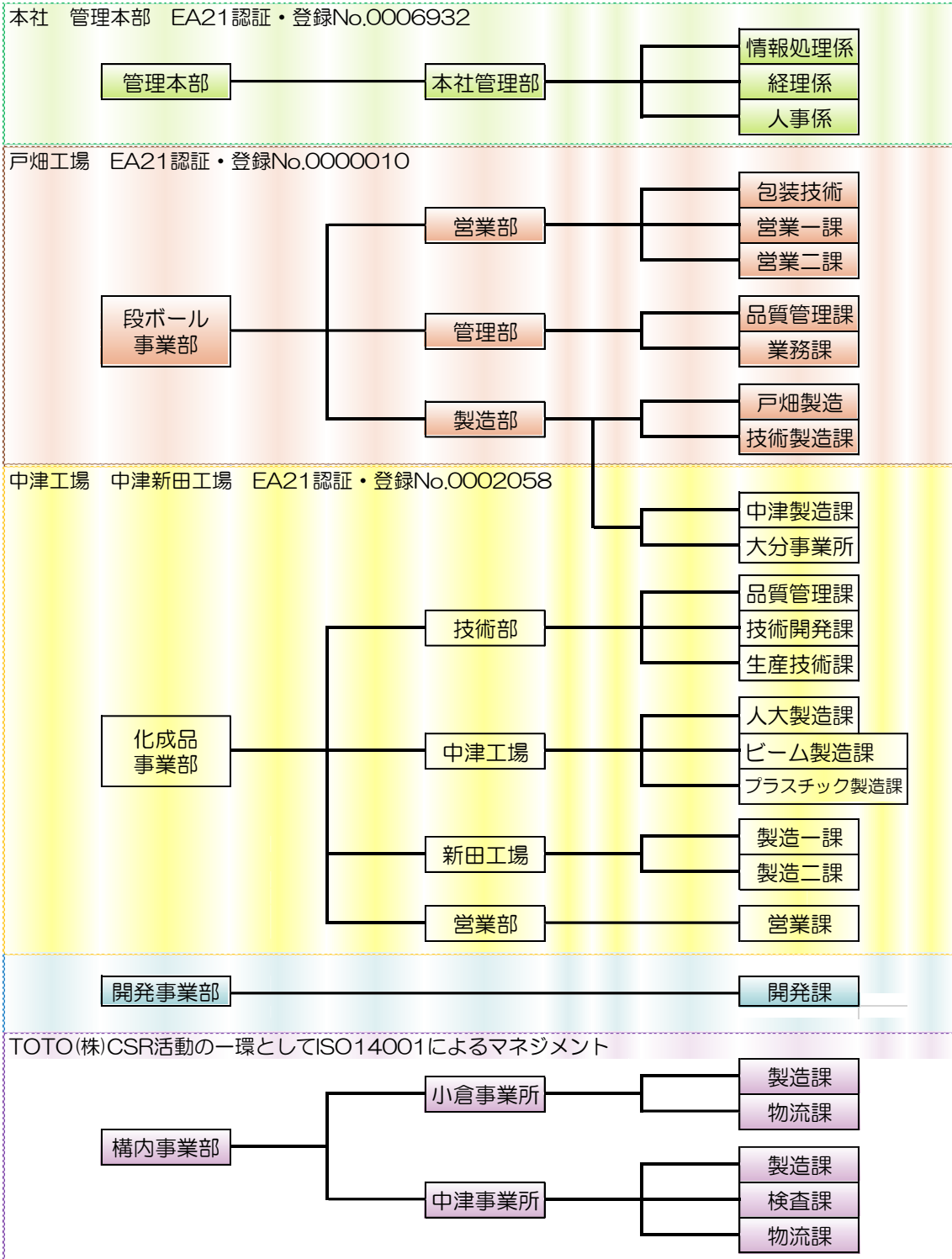
認証・登録名	太陽インダストリー株式会社 中津工場及び中津新田工場		
代表者名	化成品事業部長 佐藤 嘉一		
事業所名	環境管理責任者	担当者	連絡先
中津工場	工場長 尾道 暢	事務局 丸山 浩治	TEL0979-32-2024 FAX0979-26-2017
中津新田工場	工場長 森永 美樹	事務局 松本 司	TEL0979-23-5055 FAX0979-23-5156

1-3. 事業の規模 (事業年度：当年4月～翌年3月 従業員数：派遣・委託業者を含む)

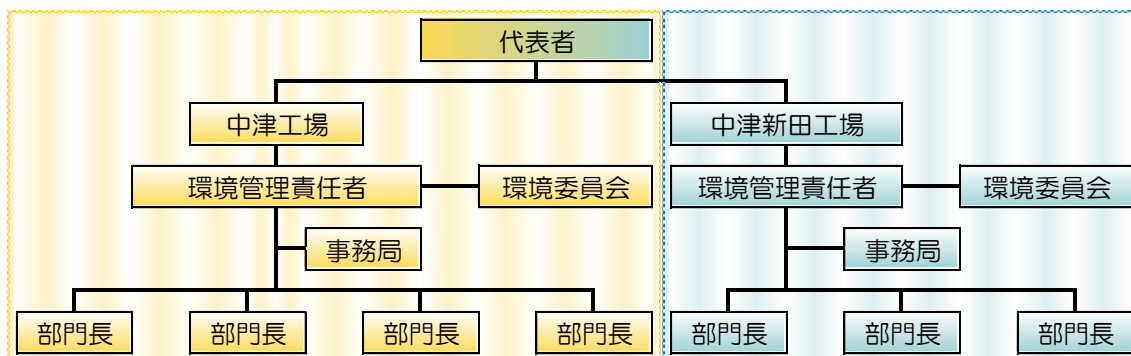
	項目	単位	H23年度	H24年度	H25年度
中津工場	生産金額	万円	82,843	71,294	79,345
	従業員数	人	112	108	112
	床面積	m ²	10,985	10,985	10,985
中津新田工場	生産金額	万円	55,815	75,679	89,054
	従業員数	人	62	82	81
	床面積	m ²	8,662	10,305	10,305

2.対象範囲

2-1. 対象範囲と認証・登録範囲



2-2. 実施体制



体制名	開催頻度及び審議事項	
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・開催は原則 1回 / 月行い、委員長が必要としたときに臨時委員会を開催する。 ・環境委員会は、以下の項目について審議を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①環境活動実施計画の進捗状況と問題点及び今後の取組の報告 ②3 ヶ月ごとに環境目標達成状況と取組状況の評価の報告 ③環境ハートフル実施の指摘事項の発表とその対応策 ④教育訓練の実施内容、従業員からの要望事項、苦情、クーム等の報告 ⑤その他、環境に関する検討事項及び報告事項 	
職名	役職	役割・責任・権限
代表者	取締役 事業部長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の策定 ・経営資源（人・設備・費用）の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境目標・環境活動ハートの承認 ・代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、維持する ・環境委員会の開催 ・環境への負荷・取組の自己チェックの実施 ・環境目標の策定
事務局	任命者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会の事務局と環境管理責任者の補佐業務 ・環境関連法規制等チェック表の作成 ・環境に関する地域住民からの苦情の窓口 ・環境関連文書・記録の保管と廃棄
部門長	部課長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の環境活動実施計画の作成と実施 ・自部門の実施するための手順書の作成 ・部下に対して、取組の指示と環境教育の推進 ・環境委員会への積極的参加と計画の進捗管理

3.環境方針

3-1. 基本理念

太陽インダストリー株式会社中津工場・中津新田工場は、「太陽インダストリー株式会社企業行動憲章」に基づき、段ボール製品と樹脂製品製造に携わる企業としての責任を自覚し、企業活動と地球環境の調和を目指し、環境負荷の低減のために環境保全活動に積極的に取り組みます。

3-2. 行動指針

1. 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善活動に努めます。
2. 環境に関わるあらゆる法規制と、その他要求事項を遵守します。
3. 当工場は、以下の項目について環境改善に取り組みます。
 - ① 電力・灯油燃料等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 工場より排出される産業廃棄物の削減
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ 化学物質使用量の低減
 - ⑤ 事務用品等のグリーン購入
 - ⑥ 環境に配慮した製品の推進
4. 地域、関係官庁と連携した環境保全活動に貢献します。
5. 環境方針は全従業員に周知するとともに、環境教育を実施し、環境に対する意識向上を図ります。

平成 25 年 5 月 1 日改訂

太陽インダストリー株式会社

中津工場・中津新田工場

化成品事業部長 佐藤 嘉一

4.環境目標

4-1. 過去の環境負荷実績(平成 22～24 年度)及び分析

(1)中津工場

・過去3年間の実績

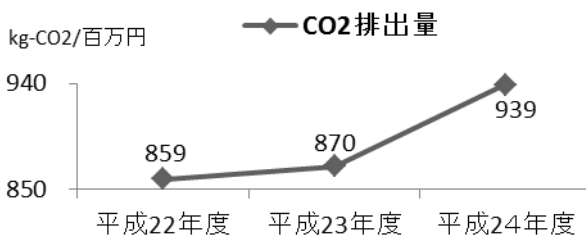
上段：実績 下段：生産金額当たりの実績

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	763,476	720,930	669,648
	kg-CO ₂ /百万円	859	870	939
電力消費量	Kwh	879,342	887,748	856,470
	Kwh/百万円	990	1,072	1,201
化石燃料	L	172,984	155,818	136,470
	L/百万円	195	188	191
産業廃棄物	kg	383,260	362,220	311,120
	kg/百万円	431	437	436
一般廃棄物 (コピー用紙)	kg	751	811	764
	kg/百万円	0.85	0.98	1.07
水使用量	m ³	3,900	3,183	2,310
	m ³ /百万円	4.4	3.8	3.2
使用禁止物質	-	不使用	不使用	不使用
生産金額	百万円	889	828	713

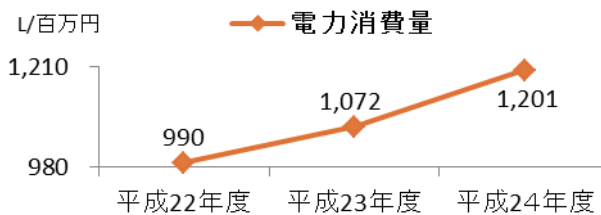
※CO₂の総量を算出する時、排出量の計算時に排出係数が使用される

(平成 22 年度の九州電力の CO₂ 排出係数：0.385)

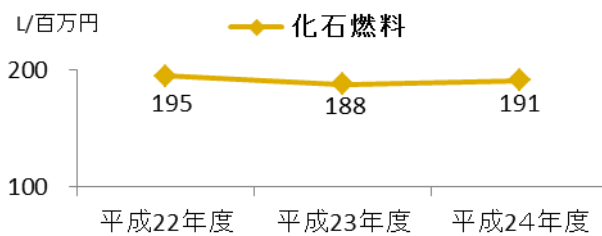
・分析



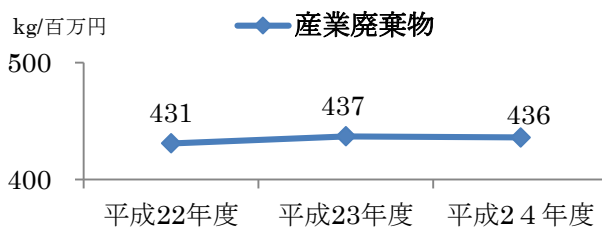
(分析) 生産金額当たりの CO₂ 排出量は電力消費量と化石燃料の生産金額当たりの割合が増えたことで比例して増加した。



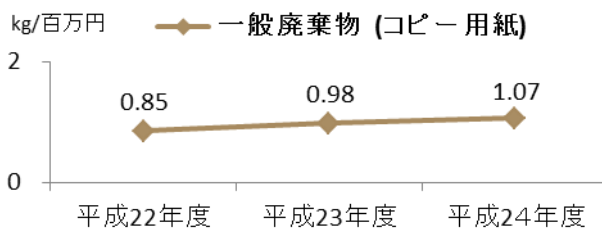
(分析) 生産金額当たりの電力使用量は電力消費の多い品種の増産により設備使用時間の延長と短納期化になり集約生産が出来なくなった為、増加している。



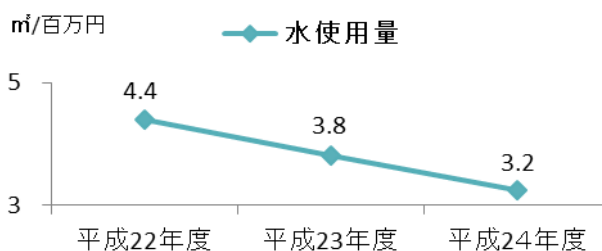
(分析) 生産金額当たりの化石燃料使用量は設備使用時の時間管理を行っていたが成果は出ず横ばいであった。



(分析) 生産金額当たりの産業廃棄物排出量はマニフェスト管理と分別が定着していることからほぼ一定である



(分析) 生産金額当たりのコピー用紙使用量は**図面が必要な生產品種が増えてきた**為、増加傾向である。



(分析) 生産金額当たりの水使用量は**漏水検査、節水、洗浄水の循環利用の徹底**により年々減少している。

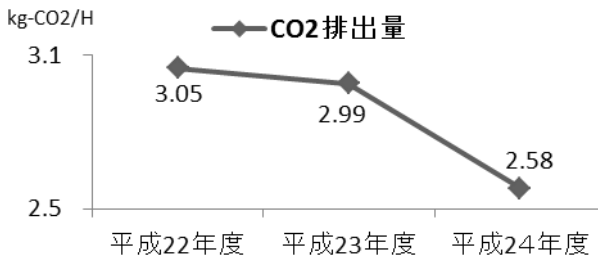
(2)中津新田工場

・過去3年間の実績

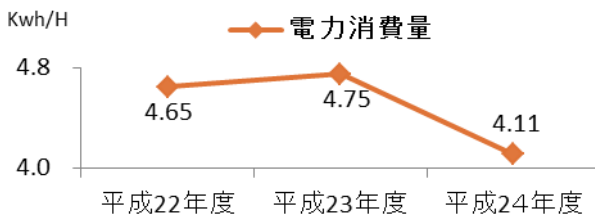
上段：実績 下段：労働時間当たりの実績

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	325,258	319,711	334,034
	kg-CO ₂ /H	3.05	2.99	2.58
電力消費量	Kwh	495,324	508,176	531,718
	Kwh/H	4.65	4.75	4.11
化石燃料	L	56,731	52,401	52,668
	L/H	0.53	0.49	0.41
産業廃棄物	kg	153,040	144,820	195,160
	kg/H	1.44	1.35	1.51
水使用量	m ³	1,255	1,164	876
	m ³ /H	0.0118	0.0109	0.0068
使用禁止物質	-	不使用	不使用	不使用
労働時間	年間(H)	106,515	106,979	129,356

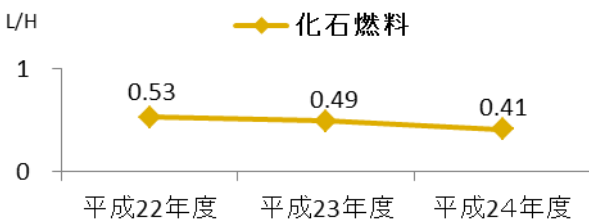
・分析



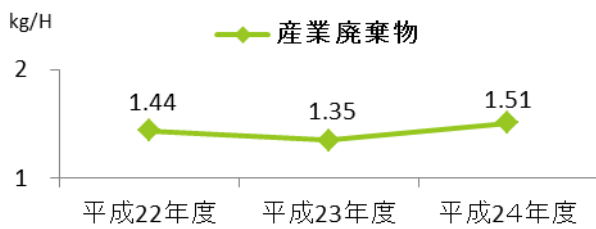
(分析)労働時間当たりのCO₂排出量は化石燃料使用量と電力消費量の労働時間当たりの削減と比例して減少している。



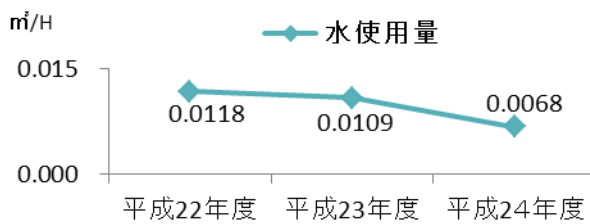
(分析)労働時間当たりの電力消費量は平成23年度は増加した為、節電に対する取組意識がより強化されコンプレッサー（回転数制御が可能な）設備の更新を行った事により24年度は減少した。



(分析)労働時間当たりの化石燃料使用量は化石燃料使用設備の稼働時間を把握し管理を強化したことで、減少してきている。



(分析) 労働時間当たりの産業廃棄物排出量は環境対策の一環で、水洗ブースのメンテを定期的に行うようになったことと、**単発的に不良品が発生した**為、産業廃棄物の排出量が増えてきている。



(分析) 労働時間当たりの水使用量は**雨水の再利用施設の設置を行い**、特に**上水道は必要としないが**、水を必要とする設備に活用したことにより減少してきている。

4-2. 環境目標

・中津工場(生産金額当たり)

項目	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
		(基準値)	(▲1%)	(▲2%)	(▲3%)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	939	930	920	911
電力消費量	Kwh/百万円	1,201	1,189	1,177	1,165
化石燃料	L/百万円	191	189	187	185
産業廃棄物	kg/百万円	436	432	428	423
一般廃棄物 (コピー用紙)	kg/百万円	1.07	1.06	1.05	1.04
水使用量	m ³ /百万円	3.24	3.21	3.18	3.14
使用禁止物質	-	不使用	不使用	不使用	不使用

・中津新田工場(労働時間当たり)

項目	単位	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
		(推定基準値)	(▲3%)	(▲4%)	(▲5%)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /H	2.86	2.83	2.80	2.77
電力消費量	Kwh/H	4.09	4.05	4.01	3.96
化石燃料	L/H	0.54	0.53	0.53	0.52
産業廃棄物	kg/H	1.29	1.28	1.26	1.25
水使用量	m ³ /H	0.0094	0.0094	0.0093	0.0092
使用禁止物質	-	不使用	不使用	不使用	不使用
化学物質 グリーン購入 製品の環境配慮	-	把握	把握	把握	把握

※H25年度より大分事業所を入れた為、H24年度の基準値を見直し、推定基準値とする。

5.環境活動計画及び実績

平成25年度環境活動計画及び実績

中津工場・中津新田工場

項目	活動内容	中津工場		新田工場	
		計画	実績	計画	実績
電力 (省エネ)	エアコンの適温化（クールピズとウォームピズの実施）	○	○	○	○
	休憩時間の照明消灯の徹底	○	○	○	◎
	省エネ照明器具（高効率蛍光灯）への切替	○	◎	○	△
	機械及び空調設備等の清掃及び保守点検	○	△	○	△
化石燃料	灯油暖房機温度管理の徹底（設定温度の徹底）	○	△	○	○
	社用車・フォークリフト等のエコ運転の推進	○	△	○	○
	車両の定期メンテナンス実施と走行燃費把握	—	—	○	◎
	ボイラーのタイマー設定の適正化管理	○	◎	○	◎
産業廃棄物	製品不良品の削減（良品率の向上）	○	◎	○	◎
	産業廃棄物の分別とリサイクル化の推進	○	○	○	○
	リターナブル容器への移行	○	△	○	△
一般廃棄物	ペーパーレス会議の推進	○	◎	○	◎
	コピー用紙使用量の削減（裏紙使用）	○	◎	○	◎
総排水量 (節水)	定期的漏水検査の実施	○	◎	○	◎
	節水の呼掛けと節水ラベルの表示	○	○	○	○
	雨水の利用	—	—	○	◎
	排水処理水の利用	○	○	○	◎
化学物質	使用禁止化学物質の不使用方法	○	○	○	◎
	MSDSの提出要求と有害化学物質の含有管理	○	◎	○	◎
その他	5Sの推進	○	△	○	◎
	グリーン購入の把握と購買リスト策定	—	—	○	○
	化学物質の含有量と購入量の把握	○	◎	○	◎

計画：該当する項目

実績：◎良く出来た、○出来た、△少し出来た、×出来ていない

6.環境目標の活動内容及び結果と評価

(1) 中津工場(生産金額当たりで判定)

・取組結果

項目	単位	H25年度目標値	H25年度実績値	判定
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	930	955	×
電力消費量	Kwh/百万円	1,189	1,144	○
化石燃料	L/百万円	189	206.6	×
産業廃棄物	kg/百万円	432	382	○
一般廃棄物 (コピー用紙)	kg/百万円	1.06	1.16	×
水使用量	m ³ /百万円	3.21	3.88	×
使用禁止物質	-	不使用	不使用	○

(判定基準：○ 達成 × 未達成)

※CO₂ 排出量の計算時に排出係数が使用されます。

(平成22年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.385)

・取組目標に対しての活動内容及び評価

項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
電力 (省エネ)	<ul style="list-style-type: none"> 電力測定器による調査と改善の継続 高効率蛍光灯切換の推進継続 	夏場(7. 8月)の電力を抑える為、生産の少なかった作業場の集約を行った。(冷房機3台、水洗ブース1台、蒸気ボイラー1基、キュア室3部屋停止)	夏場の電力抑制は大きな効果があったと思います。
項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
化石燃料	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー稼働のこまめな管理の継続 暖房機の使用方法 	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー運転管理は日々のタイマー設定で管理した。 1部のフロアーでは暖房機3基稼働を1~2基の稼働にした。(寒い人には防寒服支給) 	工場全体で灯油削減に努めたが、12~3月は消費税の駆け込み需要で生産が大幅に増えたことにより、生産に必要な蒸気ボイラーや暖房機の使用時間が長かったため、目標に対して未達になった。

項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 製品の良品率向上 両面印刷、両面コピーの徹底 	品質会議等で、不良率の削減や直行率向上の活動を強化して、産業廃棄物量の削減を行った。	開発による配合試験及び新規品番の立ち上がり時に不良が多くでた影響もあり、目標に対して未達であった。
項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス会議の推進強化 コピー用紙の使用量削減 	<ul style="list-style-type: none"> 会議はプロジェクターでの会議が定着しました。 裏紙使用の呼びかけを朝礼で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス会議はプロジェクター使用にて行われていました。 大人の伝票関係の一部がブルーフ用紙からA4に変更したことで、A4の使用量が大きく増えた。
項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
総排水量(節水)	<ul style="list-style-type: none"> 節水の呼び掛け 排水再利用の確認 漏水の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼で節水の呼び掛けを行った。 排水再利用の使用状況の確認を行った。 毎日2回の水道メーターの検針を行いました。 	取組目標に対しての活動はよく出来ていましたが、ビーム部門の生産が予定より多かったことで、水使用量が増え、総排水量も増えた。
項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質使用量の適正管理 使用禁止物質の不使用管理 	<ul style="list-style-type: none"> 新規化学物質に対してMSDSを入手して確認してから、使用するにした。 主要5項目の有害化学物質使用量の確認を行った。 	環境委員会の中でも報告されていきました。
項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
その他	再生アセトンの購入の把握	100%アセトンの購入量と再生アセトンの購入比率の確認を行った。再生アセトンに変更できないかの試験も行った。	適切に購入量は把握されている。

(2)中津新田工場(労働時間当たりで判定)・・・(大分事業所含む)

・取組結果




項目	単位	H25年度目標値	H25年度実績値	判定
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /H	2.83	2.34	○
電力消費量	Kwh/H	4.05	3.59	○
化石燃料	L/H	0.53	0.39	○
産業廃棄物	kg/H	1.28	1.04	○
水使用量	m ³ /H	0.0093	0.0075	○
使用禁止物質	-	不使用	不使用	不使用
化学物質 グリーン購入 製品の環境配慮	-	把握と一部取組	把握と一部取組	○

(判定基準：○ 達成 × 未達成)

※CO₂ 排出量の計算時に排出係数が使用されます。

(平成22年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.385)

・取組目標に対しての活動内容及び評価

項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
電力 (省エネ)	<ul style="list-style-type: none"> 水銀灯代替品の検討 電力測定器による調査と改善 高効率蛍光灯切替の推進継続 	工場内の水銀灯を省エネタイプに新規更新、デマンド監視装置を設置し電力消費量の見える化により活動を実施した。又、大分事業所では、高効率蛍光灯の切替推進を行った。	中津新田工場では、高効率蛍光灯の推進が低下している為、計画を立て新規更新して行く必要がある。
取組活動 内容の一例	水銀灯省エネタイプ	デマンド監視装置	高効率蛍光灯
			

項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
化石燃料	<ul style="list-style-type: none"> 灯油流量検針による使用量調査 ボイラー稼働のこまめな管理の継続 	今年度は灯油使用量を見える化する為、流量計を設置し調査した。又、化石燃料を必要とする設備の稼働時間を把握しタイマーによる管理で化石燃料削減に努めていた。車両に於いては定期メンテナンス実施と走行距離の把握を適切に行った。	取組目標を全て積極的に実行している。
取組活動内容の一例	<p>流量計</p> 	<p>タイマー設置状況</p> 	<p>車両定期メンテナンスチェック表</p> 
項目	25年度取組目標	25年度取組活動内容	評価
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 製品不良率の削減 配合設備の定期的メンテナンス 陶磁器屑の自社リサイクル品の検討 	5S活動が定着し製品不良率も減少した。又、陶磁器屑を破碎しリサイクル化に向け試作等を行った。大分事業所ではコピー用紙の裏紙を再利用する事が出来ない為、中津新田工場にて利用した。	配合設備の定期的メンテナンスが不足している。再度計画を立て直し実行していく必要がある。裏紙の再利用枚数に関しては随時、環境委員会で報告された。
取組活動内容の一例	<p>陶磁器屑の破碎状況</p> 	<p>破碎品のふるい分け状況</p> 	
総排水量(節水)	<ul style="list-style-type: none"> 雨水及び排水処理水の再利用の継続 節水の呼び掛け継続 ビーム洗浄廃水の再利用 	<ul style="list-style-type: none"> 再利用水の使用量の計測を毎月行った。 節水は月一回の朝礼で、呼び掛けを行った。 	再利用分の活動の取り組みは良かったが、その他の水使用量が多かった為、総排水量も上がった。
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 有害化学物質使用量の把握 PRTR制度に基づくMSDSの活用 使用禁止物質の不使用方法 	有害化学物質の種類及び使用量の調査把握を行った。又、使用禁止物質の使用もなかった。	使用する化学物質の調査把握を行い、使用禁止物質の不使用方法も徹底されていた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 再生アセトンの購入の把握 リユースパレットの状況把握 	再生アセトンの購入量や再生量を把握し、リユースパレットの状況把握も行った。	取組目標ともに環境委員会で随時、数量の報告がなされていた。

7.環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等チェック結果は以下の通りです。

・中津工場

チェック月		平成26年4月		
法令名	遵守事項	対象設備	確認	評価
廃棄物 処理法	処理の委託先業者 選択基準	一般廃棄物	○	守られている
	委託契約基準	産業廃棄物	○	業者別に契約書が整えられて いる
	マニフェスト交付と保管 期間	マニフェスト	○	保管している
	マニフェスト交付状況の 報告	様式第3号	○	平成25年6月21日に産廃管 理票交付状況報告書提出済み
	廃棄物保管基準	廃棄物置場	○	守られている
消防法	防火管理者選任(解 任)届出書	防火管理者	○	守られている
	消防計画作成(変 更)届出書	消防計画	○	守られている
	危険物保安監督者 変更届書	危険物保安監督 者	○	守られている
	消防用設備等点検 結果報告書	消防用設備	○	点検結果報告書提出済み
騒音規 制法	敷地の境界線での 測定結果	ソフレッサー	○	平成25年6月24日に測定実 施済み
	特定施設の設置及 び変更届出書	ソフレッサー	○	守られている
PRTR 法	排出量・移動量の 届出対象事業	スチン	○	平成25年6月26日に法規通 り提出されている
	MSDSの交付保管	第一・二種	○	守られている
浄化槽 法	法定検査	浄化槽	○	検査済み
	定期点検	浄化槽	○	平成25年3月7日に検査実施 済み

・中津新田工場

チェック月		平成26年4月		
法令名	遵守事項	対象設備	確認	評価
廃棄物 処理法	処理の委託先業者 選択基準	一般廃棄物	○	守られている
	委託契約基準	産業廃棄物	○	業者別に契約書が整えられて いる
	マニフェスト交付と保管 期間	マニフェスト	○	保管している
	マニフェスト交付状況の 報告	様式第3号	○	平成25年6月28日に産廃管 理票交付状況報告書提出済み
	廃棄物保管基準	廃棄物置場	○	守られている
消防法	防火管理者選任(解 任)届出書	防火管理者	○	平成25年3月29日に提出済 み
	消防計画作成(変 更)届出書	消防計画	○	守られている
	危険物保安監督者 変更届書	危険物保安監督 者	○	守られている
	消防用設備等点検 結果報告書	消防用設備	○	平成25年7月11日に点検結 果報告書提出済み
騒音規 制法	敷地の境界線での 測定結果	ソフレッサー	○	平成25年10月3日に測定実 施済み
	特定施設の設置及 び変更届出書	ソフレッサー	○	守られている
PRTR 法	排出量・移動量の 届出対象事業	スプレッ	○	平成25年6月13日に法規通 り提出されている
	MSDSの交付保管	第一・二種	○	守られている
浄化槽 法	法定検査	浄化槽	○	検査済み
	定期点検	浄化槽	○	平成25年11月1日に検査実 施済み

(2) 過去3年間にわたる環境関連法規への違反、訴訟等の有無は以下の通りです。

項目	有無	備考
法規の違反	無	上記遵守状況の確認と評価をした結果、過去3年間違反等 はありませんでした。
訴訟	無	周辺住民からの苦情、利害関係者からの訴訟も、過去3年 間ありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

・中津工場

準備	実施日	平成26年5月9日（金） 9：00～ 中津工場
	工場の対応者	各工場の環境管理責任者・環境事務局
	提供された資料	提出資料リストによる資料は、全て準備されていた。
評価	環境経営システムが有効に機能しているか	1. 環境パトロールのシステム手順の有効性がない。 →環境活動計画書に折り込み実施すること。
	環境への取組は適切に実施されているか	1. PDCAは問題なく回せている。 2. 4.8環境情報についてEA21委員会の中でその都度報告すること。 3. 4.5目標に対する進歩の傾向分析記録を報告すること。 4. 産業廃棄物管理者の変更を早急にすること。
見直し	環境方針の変更有無	無
	環境目標の変更有無	有：・中津工場は、25年度実績(生産金額当たり)の1%削減値で目標変更 (目標数値を上期、下期に分けて設定)
	要求事項の変更有無	無

• 中津新田工場

準備	実施日	平成26年5月9日（金） 10：30～ 中津新田工場
	工場の対応者	各工場の環境管理責任者・環境事務局
	提供された資料	提出資料リストによる資料は、全て準備されていた。
評価	環境経営システムが有効に機能しているか	1. 環境パトロールのシステム手順の有効性がない。 →環境活動計画書に折り込み実施すること。
	環境への取組は適切に実施されているか	1. PDCAは問題なく回せている。 2. 4.5目標に対する進歩の傾向分析記録を報告すること。
見直し	環境方針の変更有無	無
	環境目標の変更有無	無
	要求事項の変更有無	無

9.次年度の取組内容

平成26年度環境取組目標

I) 中津工場・中津新田工場

項目	26年度取組目標（中津工場）	項目	26年度取組目標（中津新田工場）
電力 （省エネ）	<ul style="list-style-type: none"> 各部門による電力使用量の調査 空調機器の省エネタイプの変更及び新エネルギーによる機器への交換の検討 	電力 （省エネ）	<ul style="list-style-type: none"> 電力測定器による調査と管理改善 高効率蛍光灯切替の推進継続
化石燃料	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気ボイラー、空調機器（暖房機）の更新時に新エネルギーによる燃料変更に伴い灯油使用量を減らす。 灯油の流量計を設置して灯油使用量の調査を行い、管理をしていく。 	化石燃料	<ul style="list-style-type: none"> 灯油流量検針による使用量調査継続 化石燃料を必要とする設備のこまめな管理と継続
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 産廃置場の集約化。 製造工程のムダ・ムラの改善 良品率の向上 	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 製品不良率の削減と把握 配合設備の定期的メンテナンスの継続 陶磁器屑の自社リサイクル品の検討
一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の重量測定を実施することにより、削減活動に繋げる。 		
総排水量 （節水）	<ul style="list-style-type: none"> 排水再利用の徹底管理 水道メーターの検針による管理 	総排水量 （節水）	<ul style="list-style-type: none"> 雨水及び排水処理水の再利用の継続 節水の呼び掛け継続 水道メーター検針による使用量の調査把握と漏水確認
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 新規物質に対する調査（MSDS確認） 化学物質の使用量調査 	化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 有害化学物質使用量の把握 PRTR制度に基づくMSDSの活用 使用禁止物質の不使用管理
その他	<ul style="list-style-type: none"> 100%アセトンと再生アセトンの購入比率を確認 	その他	<ul style="list-style-type: none"> 再生アセトンの購入の把握 リユースパレットの状況把握 コピーの裏紙使用量の把握